

## インテリア実習（インテリア類型）

教科	工業（建築インテリア）	単位数	4	学科・学年	建築インテリア科 2年
使用教科書					
副教材等	担当教員が配布するプリント 他				

## 「実習」はどんな科目？

家具を製作するのに必要な知識や技術、デザイン設計した製図の技術を、実際に作業をしながら学習していきます。

## 「実習」の学習の特徴は？

「木工」、「デザイン」の2つのパートに分かれて集中的に実習を行い、年間を通じて総合的な知識・技術を身につけていきます。

## 「実習」で大切なこと（留意点）は？

一番大切なことは「安全」です。特に木工パートでは木工機械を扱いますので、ケガをしないように服装を正し、心の準備をして作業に取り組むことが大切です。

また、実習を休んでしまうと、他の人よりも作業が遅れてしまいますので、実習を休まないように体調を管理することが大切です。

## 1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	学 習 内 容（单元名）	学 習 の ね ら い
木 材 加 工	1 ワゴンの製作 ・製図 ・加工・組立 ・塗装  2 椅子の製作 ・加工・組立 ・塗装  <定期考査>	ワゴンの製作を通じて、手加工・機械加工を行い、中でも、木工機械の扱い方を中心に家具製作に必要な知識・技術を学びます。 また、材料の接ぎ合わせを行い、小物の椅子製作を学びます。
デ ザ イ ン	3 看板の制作 ・クラフトデザイン/レタリング  4 ステンドグラスの制作 ・工芸/ステンドグラス、 インテリアライトの製作  <定期考査>	文字に造形的な配慮を施し、マイルームの看板を制作する。自分の名前をわかりやすく表現する技術を学びます。 また、ステンドグラスでガラスの加工を体験する。

## 2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、各パート毎に、4つの観点から行います。

観点	内 容	木材加工	デザイン
関心 意欲 態度	・インテリア実習に対する関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢、態度を身に付ける。	・授業態度 ・提出物 ・出欠状況 ・服装	・授業態度 ・提出物 ・出欠状況 ・服装
思考 判断 表現	・インテリア実習に対し、目的と内容をよく理解し学習で得た知識を整理し積極的に取り組む。 完成作品は丁寧に製作され期限までに提出する。	・授業態度 ・作品点 ・質疑応答	・授業態度 ・作品点 ・作品プレゼン ・質疑応答
技能	・インテリア実習に用いる機械・工具を使用目的、構造、性能、特性、取り扱いをよく理解できる。 完成作品は丁寧に製作され期限までに提出する。	・作品の仕上 ・授業の実技	・作品の仕上 ・授業中の実技
知識 理解	・作品に連動した図面等の作成において基礎的な知識を身に付け、構造を理解する。 正確な図面の作図を行い最後まで仕上げ提出期限を守る。	・定期考査 ・製作過程	・生徒見本観察 ・質疑応答 ・製作過程

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・木材加工  
作品製作に取り組む姿勢、作品製作の技術、作品の仕上がり、安全作業に対する心構え
- ・デザイン  
作品製作に取り組む姿勢、作品製作の技術、作品の仕上がり、創造性

また、1年間の評定は年間を通じて、2つのパートの評価を総合的に判断して決定します。

## 3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

実習は、普通高校では学ぶことができない、工業高校の一番の特徴ある科目です。また、建築インテリア科の生徒として学習しているということ、一番感じることができる科目であると思います。精一杯体を動かして、技術や技能を取得してください。